

臨時レポート

原油価格が上昇の勢いを強める

原油高・ガソリン高が米国個人消費の重荷となる可能性も

- ▶ 9月25日、主要産油国の減産見送り等を背景に、北海ブレント原油先物価格が約3年10ヵ月ぶりの高値をつける。
- ▶ 原油価格は当面高止まりないしは上昇基調を続ける可能性がある。原油やガソリン価格の上昇が、車社会の米国経済に悪影響を及ぼすことも考えられる。

- 原油価格が上昇の勢いを強めつつあります。9月25日、欧州市場では英国産北海ブレント原油先物価格が2014年12月以来約3年10ヵ月ぶりの高値をつきました。米国市場でもWTI原油先物価格が約2ヵ月半ぶりの水準まで上昇しています(図表1)。その背景には、①イランやリビアの供給懸念、②OPEC(石油輸出国機構)やロシア等産油国の増産見送り、③パイプライン価格の上昇等による米シェールオイル供給懸念等があるものと思われます。

～ イランやリビアの供給懸念 ～

- 核合意からの離脱を表明した米国による経済制裁の再開等を受け、イランの原油生産懸念が強まりつつあります。OPECによると8月の同国の生産量は前月比約4%減少しており、経済制裁再開の影響が現われ始めている可能性があります。北アフリカの産油国リビアでは武装勢力同士の戦闘が激化し、国営石油会社への襲撃事件が発生する等、政情不安が強まっています。

～ 産油国の増産見送り ～

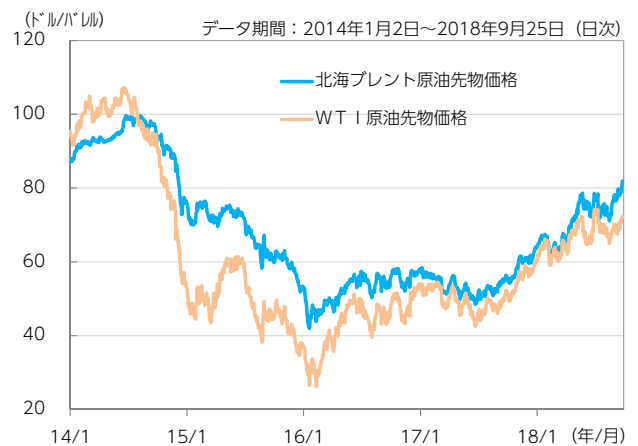
- 主要産油国は6月末に日量100万バレル程度増産することで合意していましたが、技術上の問題等により、8月時点では6月比約40万バレルの増産に留まっています(図表2)。主要産油国は9月23日、原油の増産を巡り協議を行いました。トランプ大統領は増産による価格引き下げを求めていましたが、現状はその必要性に乏しいとの判断等から主要産油国は増産を見送りました。

～ 米シェールオイル供給懸念 ～

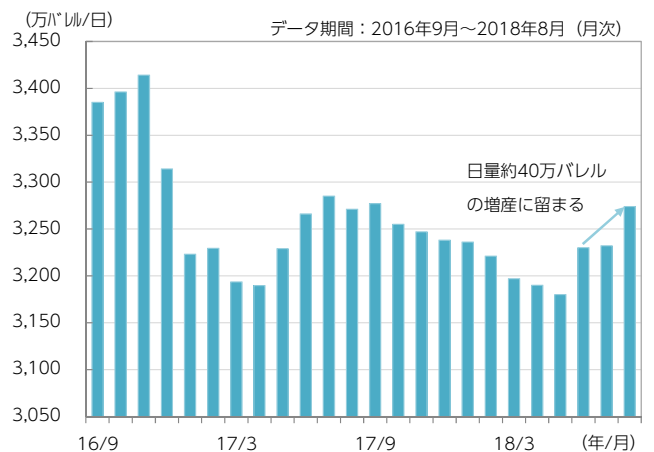
- トランプ米政権による鉄鋼製品に対する25%の追加関税や数量規制等の影響を受けて材料価格が上昇し、主要鉱区からシェールオイルを送り出すパイプラインの増設を凍結する動きが強まりつつあるようです。輸送能力の拡大が見込みづらくなる中、石油を掘削する装置(石油リグ)の稼働数は伸び悩んでおり(図表3)、米シェールオイルの供給懸念が高まりつつあります。

- 主要産油国の減産見送り等を受け、原油価格は当面高止まりないしは上昇基調を続けるものと思われます。原油高によるガソリン価格上昇で、車社会である米国の個人消費が鈍化する可能性もありそうです。

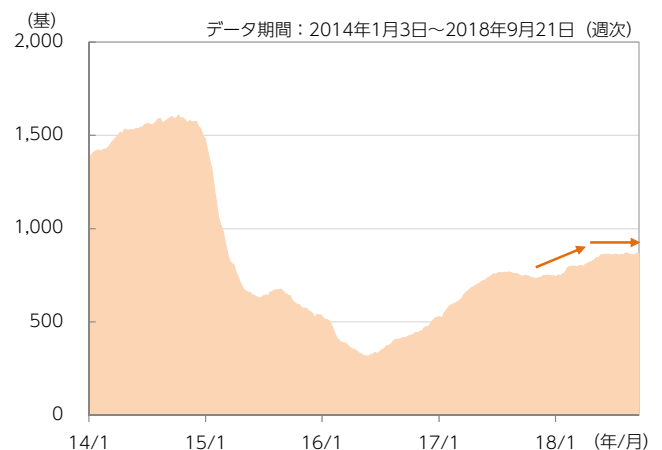
図表1：北海ブレント原油先物価格



図表2：OPEC原油生産量



図表3：米国での石油リグ稼働数



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>